

落語を愉しもう

～江戸の落語から学ぶ～



(講師プロフィール)

岡山の江戸落語の重鎮。岡山素人落語会寄人会出身。日本大学芸術学部落語研究会所属。

江戸落語は華やかさより渋さを好み、人情噺が軸で、江戸の小粋な人間模様を描きます。古典落語で語られる普遍的な親子の愛情の物語、師弟愛、夫婦愛、男女の恋などの人情味あふれる人情噺、長い年月や生活環境の変化を経ても、人々に受け継がれ、笑いや涙を誘います。

落語の奥深さを知り、人の生き方について学びたいと思います。江戸落語の世界をたっぷりと愉しみましょう。

笑いの半分は噺家の能力、半分は聞く人の能力と言われます。

笑うことができるのは人間だけです。笑えるというのは幸せなことです。私たちは、笑うことのできる環境のありがたさを感じます。人は生涯の中でどれくらいの時間を「笑うこと」に費やしているのでしょうか。人生80年とした場合、「笑う」のは22時間。赤ちゃんは1日400回、20代で15回、50代になると7回まで減少します。皆さんは1日何回笑っていますか。笑うことによって、人との接し方が楽しいものになります。笑顔で元気に生きていきましょう。

10/29

土

13:30 ~ 15:00

講師

岡山おもれえ会 副会長

笑皆亭 口口氏 (しょうかいてい きつす)

会場

水島公民館 大ホール

入場無料

- 内容変更や中止する必要があることをご了承ください。
- マスク着用でご来館ください。発熱・咳などの症状がある方や体調のすぐれない方は受講をご遠慮ください。

お申込・問い合わせ先：水島公民館

倉敷市水島北幸町1-2 電話 444-2541